

★ 親になることについて考えてみよう

一人一人の人生にはそれぞれの選択肢があり、様々な家族の形があります。「家族をつくる」ことは、自分が育ってきた家庭とは別の新しい家庭ができること、または、これまでの家族にパートナーや子どもなどが新たに加わり、家族が増えることを意味します。両親や祖父母、さらにその祖先が築いてきた家族の様々な歴史があって、私たちはこの時代に誕生し、生きています。その歴史を次の世代に受け継ぐことは、とても意義があることです。

● 家族とは

家族のとらえ方は、人によって異なります。多くの場合は父・母、祖父・祖母、きょうだい、夫・妻・子など結婚や血縁などによってつながり、自分と関わりの深い人々のことをいいます。また、一緒に暮らしてなくても、おじ・おば、おい・めいは家族という人もいますし、血縁関係がなくても、共に過ごしてきた人たちを家族ととらえる人もいます。家族は、困った時に助け合ったり、嬉しい時には喜び合ったりし、互いに支え合います。新たな家族が増えた時には、視野や世界観などの変化につながることもあります。

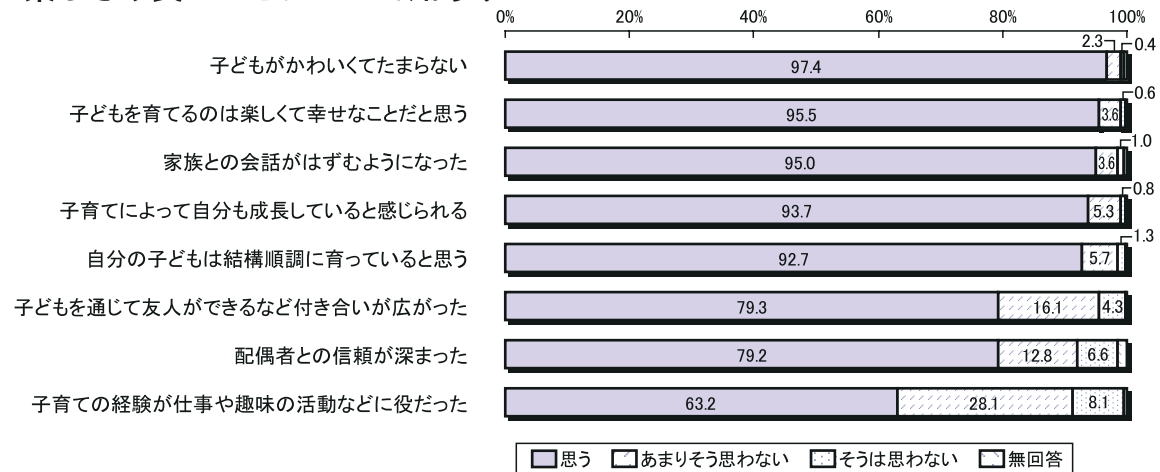
● 親として育つ

子どもが成長していくためには、親や家族、周囲の人間、さらには社会からどのような影響を受けるかが重要です。一般に、子どもが生まれてから最初に触れる環境は家庭であり、親がどのように子どもに関わるかは、子どもの人格形成にも影響します。一方、子どもを取り巻く社会や環境等から、子どもを守り育てるため、親は子どもの年齢や個性に合わせた対応をすることで、子どもから信頼を寄せられることになり、子育ての自信が生まれます。

また、子どもの成長を喜びながら、徐々に親としての自覚を育みます。

なお、子育てには、祖父母を含めた家族、地域や社会の支援も必要です。最近では、地域での子育て支援の取組が進んでいます。

・ 子育ての楽しさや良いことについて知ろう



□ 考えてみよう !!

◆ 親にとって子どもはどのような存在か考えてみましょう。

● 親子関係について

親子関係には、様々な形があります。いずれにしても、いったん親になると、子どもが成人するまでは子どもを育て、子どもの安全を確保すること、教育と財産管理の権利と義務を果たすことが法律によって定められています。

□ 考えてみよう !!

◆ 次の資料は、福岡県内の「高校生の規範意識」について調査したアンケート結果の一部です。アンケート結果をもとに、子の立場、親の立場に立って、ロールプレイをしてみましょう。



家庭で「おはよう」「ただいま」の挨拶をしない

	生徒 (%)	保護者 (%)
決して許されない	17.0	48.0
どちらかと言えば許されない	29.0	42.0
あまり気にならない	32.0	8.0
全く気にならない	22.0	0.9



家庭に無断で外泊する

	生徒 (%)	保護者 (%)
決して許されない	26.0	89.0
どちらかと言えば許されない	33.0	8.0
あまり気にならない	21.0	2.0
全く気にならない	19.0	0.9



引用：福岡県父母教師連合会調査広報委員会「高校生の規範意識について」(平成 20 年)

◆ それぞれの立場について気づいたことを書いてみよう。

親（保護者）の立場から

子どもの立場から

() の立場から